



さいたま市長
清水 勇人

選ばれる都市をめざして

さいたま市は東京の北側、関東平野のほぼ中央に位置する人口約126万人の都市です。東北・上越など新幹線5路線をはじめ、JR各線や私鉄線が通るとともに、高速道路をはじめとする道路交通網も発達しており、都心や空港などのアクセスにも恵まれた、東日本の交通の要衝となっております。

現在、さいたま市には1万7千人を超える外国人市民が在住しており、その数はゆるやかな増加を続けています。また本市では国際的なイベントも多く開催しており、本年10月には、昨年を引き続き、国際自転車レース「2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」を開催する他、2016年の「さいたまトリエンナーレ」、2017年の世界盆栽大会、2020年には埼玉スタジアム2002において、東京オリンピックのサッカー競技開催が予定されており、国内だけでなく海外からもたくさんのお客様をお迎えする準備を進めております。今後も、外国人市民の増加や、国際的なイベントなどの開催による外国人観光客の来訪を通じて、多くの地域・国の方々と接し、交流を深めることで市民の国際感覚をはぐくみ、都市の魅力を一層高めていきたいと考えております。

さて、本市の国際化の施策に関しては、交流が多様化している状況を踏まえ、今後めざすべき国際化推進の方針を定める「さいたま市国際化推進基本計画」の改定を今年3月に行いました。今回の改定では、「都市機能や都市環境の拡充による国際化の推進」「国際社会との多様な交流や協働による国際化の推進」「多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進」「国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進」の4つの基本方針を柱に、国際情勢への柔軟な対応を意識して策定いたしました。今後も、国際的なイベントや会議を積極的に誘致するとともに、より多くの方々に本市においでいただけるよう、案内板などの多言語表記の拡充を行い、ボランティアの能力向上や世界に向けた情報発信の充実などを推進し、「選ばれる都市」の実現をめざしてまいります。